４４回生スローガン『　異体同心　～　仲間を大切にし、友情を深める～　』

第３学年
学年通信

轍（わだち）

H30. 4. 13
No.４

平成３０年度離任式が行われました。

山田教頭…「chance」時に１段努力（１字置換）→「change」

校長先生による、離任された先生方の紹介です。

気持ちのこもった感謝の言葉でした。

執行部と保護者代表からの花束贈呈です。

離任される先生方が、高丘中学校の過去・現在・未来について、その思いを語られました。どの中学校でも落ち着いている時とそうでない時があります。この度は、高丘中の現在の落ち着きの土台を作られた先生方が離任されました。私たち（教師も生徒も）は、その先生方の思いをしっかりと理解し、今後入学してくる後輩達に更に成長した高丘中を伝えてく責任があります。いわゆる「恩送り」です。平成３０年度から平成３１年度へ何を伝えますか？

旧２年担当の先生方のお別れ会が行われました。

吉山先生に感謝状贈呈。

山本先生に感謝状贈呈。

合唱「ふるさと」感謝の気持ちを伝えましたか？

離任、わかっていても悲しいですね。

「泣かないと決めていたんですが、３年生が目の前にいると、何だか複雑で（涙）…」

「３月に入ると、もしかしたら転勤？、という思いがあって、残された時間が限られてくると、毎日が早く過ぎてしまいました。３年生の受験も同じです。これからの時間を大切にしましょう。」

「高丘ノートや教室・廊下での何気ない会話の中で、３年生のクラスや担任について楽しくお話したけど、それが実現できませんでした。優しいウソと思って許して下さい。」

「３月の２年生最後の学年集会での“ふるさと”密かに感動していたんです。この学年の合唱を聴くのもこれで終わりか、とね。とても素晴らしい合唱をありがとう！」

「高丘中でもらったエネルギーを活力にして、大久保北中でも頑張ります。また、北中の体育館渡り廊下から見える高丘中にエールを送りますね。」

涙声になりながらも、吉山先生の本当に素直な心の表現でした。退場時のハプニング、申し訳ありませんでした。体育館を出ていかれる時の「最後の一礼」がとても印象的でした。本当にありがとうございました。

ありがとうございました。

ありがとうございました。

高丘中学校、ありがとうございました！

「１１年間の勤務と４年間の再任用機関を合わせて、１５年間、高丘中学校にお世話になりました。教師生活も４０年、これを機に退職し、新たな人生を歩むことにしました」

「失敗（浪人や留年等）することはいくらでもあります。でも、落ち込まずに、チャンス（留年したおかげで数学の免許を取る時間ができた等）にしてください。」

「蝶々を取るのに山を登ったりするので、体力が要ります。だから、体力トレーニングを続けています。また、六甲山を歩くことも毎年継続しているので、それも頑張ります」

「祖父からの遺伝が…（これは省略）…」

高丘中での思い出や今後の人生など、時間をかけてお話し頂きました。私もそう遠くない頃に同じ状況になりますので、とても身近なお話でした。廊下の床磨き、アナウンス指導等、プロ級のアドバイス、本当にありがとうございました。そして、長年の教師生活、大変お疲れ様でした。

１年後、４４回生は、離任された先生方と同様に、体育館を出ていくことになります。４４回生の後姿を、私はどのような気持ちで見送っているのだろう。